

被災3県の雇用情勢

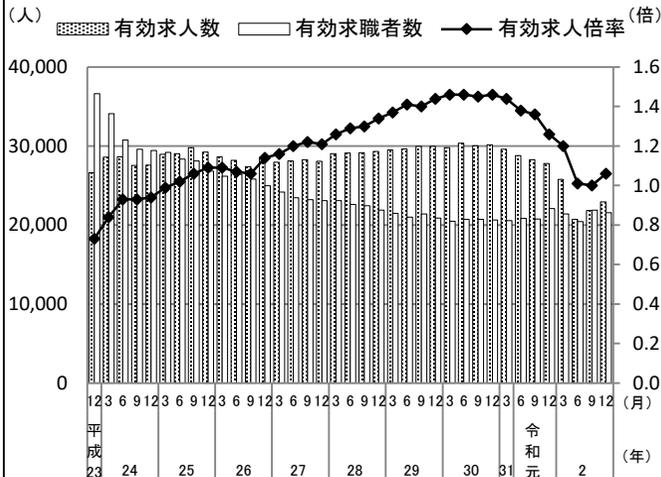
〔概況〕

- 被災地の雇用情勢は、有効求人倍率が3県ともに1倍を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、求人が減少している一方で、求職者が増加傾向にある。雇用者数は震災前の水準まで回復しているが、沿岸部では、人口減少等により、雇用者数が震災前の水準まで回復していない地域や産業もある。
- 雇用のミスマッチを解消し、被災者に寄り添った就労支援として、産業政策と一体となった雇用の創出を図るとともに、求職者の状況を踏まえた的確な職業紹介に努める。また、地域の基幹産業である食料品製造業（水産加工業）等について求人の充足に努める。

1 被災3県の有効求人倍率等の動向

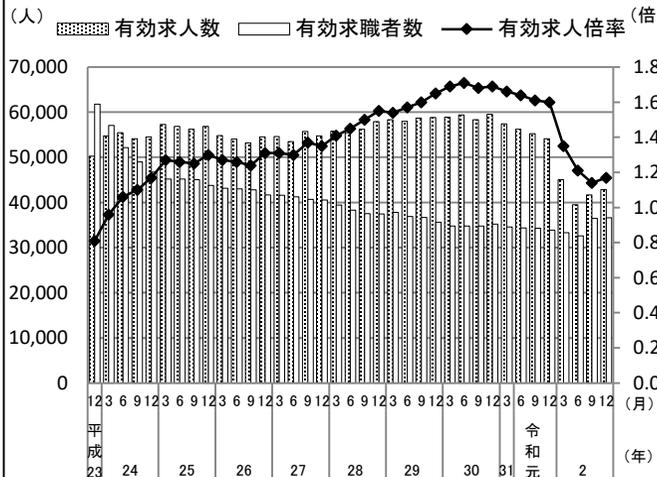
岩手県

有効求人倍率
〔2年12月〕 1.06
〔23年2月〕 0.51



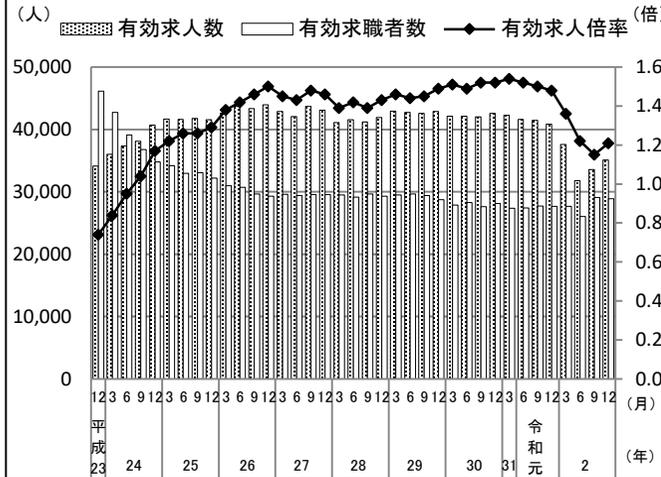
宮城県

有効求人倍率
〔2年12月〕 1.17
〔23年2月〕 0.52



福島県

有効求人倍率
〔2年12月〕 1.21
〔23年2月〕 0.50



※ 全国の有効求人倍率 2年12月：1.06倍 (23年2月：0.62倍)

2 安定所別の動向(沿岸部) ※単位:有効求人倍率(倍)、有効求人数・有効求職者数(人)。前年差、10年前との差は、(ポイント)。前年比、10年前との比は(%)。

安定所	有効求人倍率				有効求人数				有効求職者数			
	2年12月		元年12月	22年12月	2年12月		元年12月	22年12月	2年12月		元年12月	22年12月
	前年差	10年前との差			前年比	10年前との比			前年比	10年前との比		
岩手県												
久慈	1.17		1.60	0.39	962		1,235	510	822		770	1,322
	▲ 0.43	0.78			▲ 22.1	88.6			6.8	▲ 37.8		
宮古	1.18		1.22	0.55	1,224		1,358	858	1,039		1,116	1,565
	▲ 0.04	0.63			▲ 9.9	42.7			▲ 6.9	▲ 33.6		
釜石	1.10		1.15	0.53	1,115		1,175	828	1,013		1,024	1,549
	▲ 0.05	0.57			▲ 5.1	34.7			▲ 1.1	▲ 34.6		
大船渡	1.27		1.54	0.66	1,179		1,463	800	929		948	1,214
	▲ 0.27	0.61			▲ 19.4	47.4			▲ 2.0	▲ 23.5		
宮城県												
気仙沼	1.52		1.67	0.55	1,538		1,648	869	1,012		985	1,577
	▲ 0.15	0.97			▲ 6.7	77.0			2.7	▲ 35.8		
石巻	1.96		2.17	0.52	4,700		5,040	2,086	2,400		2,322	4,029
	▲ 0.21	1.44			▲ 6.7	125.3			3.4	▲ 40.4		
塩釜	0.95		1.16	0.44	2,372		2,621	1,601	2,498		2,269	3,649
	▲ 0.21	0.51			▲ 9.5	48.2			10.1	▲ 31.5		
仙台	1.34		1.99	0.60	26,483		36,357	17,739	19,826		18,251	29,358
	▲ 0.65	0.74			▲ 27.2	49.3			8.6	▲ 32.5		
福島県												
相双	1.92		3.16	0.52	3,366		4,672	1,717	1,751		1,479	3,332
	▲ 1.24	1.40			▲ 28.0	96.0			18.4	▲ 47.4		
いわき	1.46		1.78	0.62	7,261		8,248	4,577	4,974		4,622	7,362
	▲ 0.32	0.84			▲ 12.0	58.6			7.6	▲ 32.4		
全国												
全国	1.13		1.68	0.62	2,095,200		2,666,128	1,482,745	1,849,911		1,586,932	2,383,684
	▲ 0.55	0.51			▲ 21.4	41.3			16.6	▲ 22.4		